



リコール情報の再確認！ —西日本防災システム

2016 01 21



の石油ストーブ

NBS
119

リコールの対象となっているコロナ製の石油ストーブタンクが原因とみられる火災が先月29日大阪府内で発生し、80代男性1人が亡くなっています。このタンクは現在**630万台**ほどがリコールされていますが、これまでに修理を終えた割合は**1.7%**にとどまっています。消費者庁は対象製品を持っている人は、すぐにメーカーに連絡するよう呼びかけています。

消防などの調べでは男性がストーブに給油しようとした際に、リコール対象のタンクから灯油が漏れたことが原因とみられるそうです。

リコール対象のコロナ製のタンクは、長期間使用していると給油口が変形し、ふたのしまりが不十分となり、灯油が漏れるおそれがあるとして、8年前の平成20年にリコール対象となり、コロナが無償で新たな部品を取り付ける修理を進めています。対象となっているのは、コロナが昭和62年から平成12年にかけて製造した、多くの石油ストーブと石油ファンヒーターに使用されているタンクで、合わせて**636万台**にのぼります。ですがその回収率は非常に悪く、大変危険な状況となっています。消費者庁は、対象の製品を持っている人は、すぐにメーカーに連絡するよう呼びかけています。

メーカーホームページでもご確認ください！

連絡先 0120-003-683 緊急！



UHB-TP1010(W) UHB-TP1020(W)
UHB-TPM1010(W) UHB-TPM1020(W)



UHB-TP1010(H) UHB-TP1020(H)
*(W)と(H)は色相の違い



西日本防災システム

NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>

弊社top pageへ